

AT だより 9月号

(アシスティブテクノロジー)

今年もコロナによってなかなか見通しのもてない状況です。そんな中ですが、子どもたちのそれぞれの学びと、生活の充実を目指して、支援技術を活用した取り組みを行っていますので、少し紹介します。

ATって何？

AT はアシスティブテクノロジー (Assistive Technology) の略称。AT とは、障害による物理的な操作上の不利や、障壁 (バリア) を、機器を工夫することによって支援しようという考え方であり、そのための支援技術のことです。タブレットなどの ICT 機器も AT の中に含まれています。特にタブレットについては、コロナの状況もあり、今後、さらなる活用が広がっていきます。

AT たとえば、、、

- 外付けのスイッチでおもちゃを動かして遊ぶ。
- 絵カードや写真カードを使って、分かりやすくする。
- 車椅子を利用している人が、レーザーポインターで手の届かないところを指し示す。
- 授業の板書や、バスの時刻表などをタブレットで写真に撮って記録する。



枠の中に大豆を並べて数える



ワイヤーを使って野菜の収穫



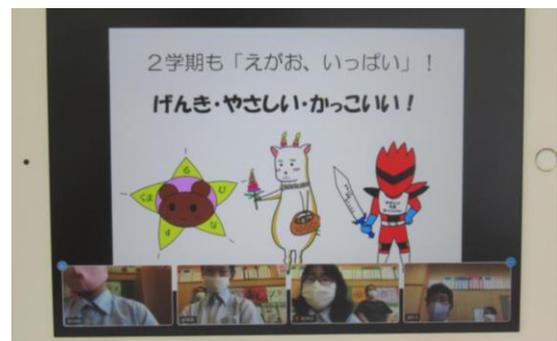
スイッチでタブレットを操作

1 リモート活用の広がり (始業式もリモートで)

全体の行事や集団学習を集まってすることが難しくなり、zoom でのリモート活用が広がっています。昨年度からいろんな場面で試行錯誤を繰り返しながら、扱いに慣れてきました。また、みんなで集まれるようになるといいですが、これからは学校内だけでなく、学校に来ることが難しい人や、遠い地域の方とのコミュニケーションにも生かしていけると考えています。



2学期の始業式



2 GIGA スクール構想が進んでいます

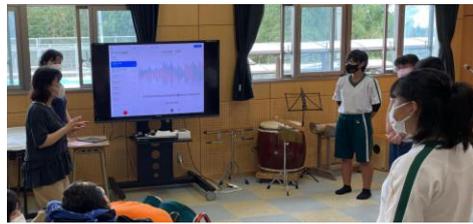
GIGA スクール構想とは、文部科学省が推進する児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する計画のことです。コロナ禍もあり、昨年度から実現に向けた取り組みがより加速してきました。本校にも児童生徒用に30台以上の iPad が入ってきました。

① 一人1台の活用を目指して

たくさんのタブレットが整備されてきていますが、まだすべての子どもたちに一台ずつ行き渡っていない状況です。本校では、以前よりタブレットを支援機器(AT 機器)として、活用が広がるよう取り組んでいます。これからも、さらに子どもの個性に合わせた、活用しやすい環境を整えていきます。



教室でタブレットを管理して使いやすく



視聴覚機器の充実(AppleTV)



先生たちの AT 学習会

② GoogleWorkspace の活用

5月に「G suite for education」の利用同意について承諾書をいただきました。その後、名称が「GoogleWorkspace」に変更されました。今のところ一部の学級で試験的に活用している状態です。これから、データを共有など便利に使えるようになればと思います。



③ 高等部での取り組み

高等部では個人所有のタブレットを使っています(高等部生には ICT 機器活用のために就学奨励費が加算されています)。使いやすいように先生とカスタマイズしながら日々の学習を中心に、表現活動や余暇活動にも生かしていています。



登校後に自分で日程確認



スライドや動画をみて学習の振り返りをする



連絡帳として(一部の学級)

3 インスタ始めました!

今年度より情報発信のためInstagramをはじめました。「るぴなすアート」という名前です。子どもたちのアート作品を中心に活動の様子をのせてますので、是非ご覧ください(^_^)これからたくさんの作品をアップして盛り上げていきたいと思いますので、フォローおねがいします!

